

市町村の合併

-愛知県の「村」は何故今も存在するのか？-

名古屋学院大学 佐々木ゼミ

本発表での内訳

1. はじめに
2. 愛知県に存在する2つの「村」
 1. 飛島村の立地状況
 2. 豊根村の立地状況
3. 市町村合併の仕組み
4. 財政力指数で比較する
5. 豊根村の合併のゆくえ
6. まとめ

1.はじめに

今回の研究題材に至る理由との到達地点の提示

なぜ合併関連について調べたのか

動機

- ・自分たちが住んでいる愛知県に
関して何かしら調べてみたかったため
 - ・大都市圏の近辺に
今も「村」が存在している点に疑問
-

本研究の到達点

目的

- ・愛知県に存在する2つの「村」は
合併すべきか、すべきでないかを判断
 - ・愛知県内の残る「村」の
現在の取り組みは？
-

2.愛知県に 存在する2つの「村」

愛知県内には
「村」がつく地方公共団体が2ヶ所存在するが
最初にその2つの「村」の位置を確認

愛知県の市町村数



54 市町村
「38市・14町・2村」

- 豊根村
- 飛島村

2つの村の位置

豊根村

飛島村



この2つの村はどうして「村」という単位？

そもそも



「村」の基準とは？

市町村それぞれの違いは何なのか



市町村の区分の基準

市 ー 通常は**人口5万人以上**

中心となる市街地に家が全体の家の数の**6割以上**
商工業に関わる人たちやその家族の割合が**6割以上**

町 ー それぞれの都道府県の条例に定められている条件を満たす必要

条例はそれぞれの都道府県によって様々
多くの条例では、**人口は5000人以上**

村 ー 村の法的な要件は、特段定めはない



2-a. 飛島村の立地状況

愛知県飛島村は
「村」なのにも関わらず、名古屋市と隣接している
さらに飛び抜けた財政力をもっているがその特殊な環境を紹介



飛島村 (2018年4月1日時点)

総人口

4,489人

面積

22.42km²

- ・「村」にもかかわらず名古屋市に隣接している
- ・村の北部は干拓によって出来た
 海拔0メートル地帯であり、農村風景が広がる
 一方、南部は埋め立て地で、
 名古屋港の一角を占める臨海工業地帯

飛島村の二面性

北部：田園風景が広がる農業区域

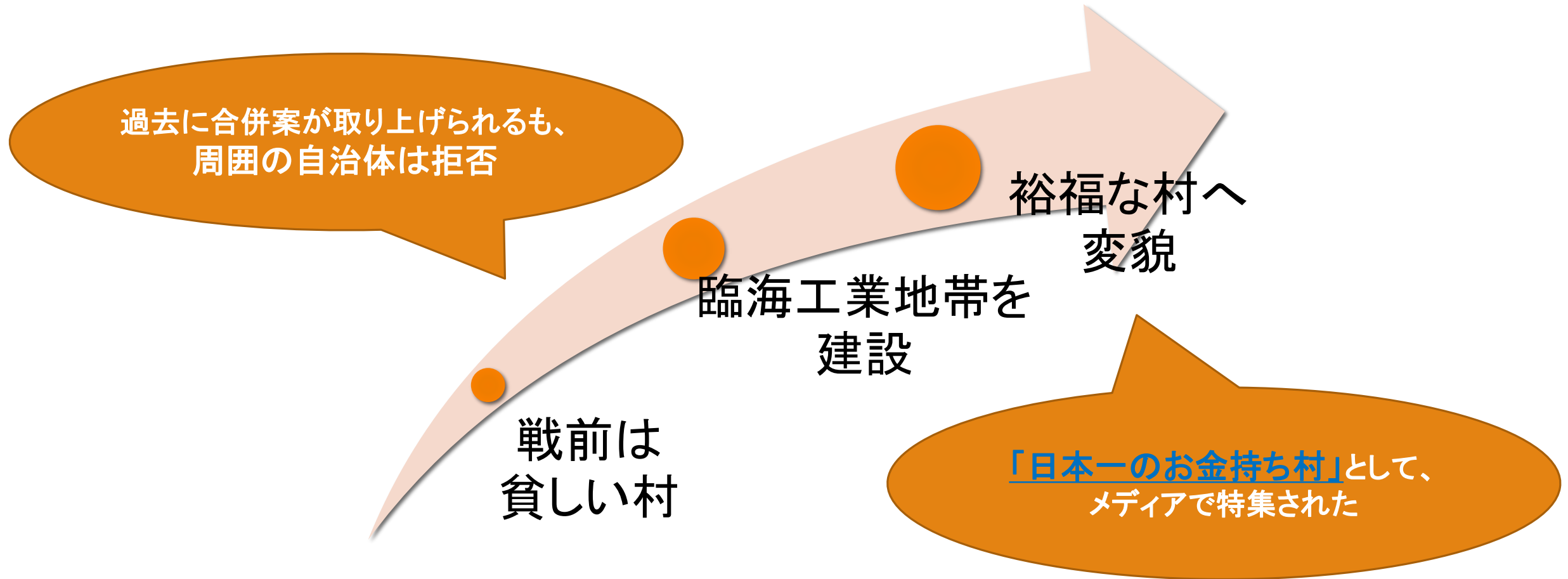
- ・干拓による海拔0メートル地帯
- ・米のほか野菜や花卉栽培が盛ん
- ・農業産出額は10億6,000万円(2006年度)

南部：埋め立て地による臨海工業地帯

- ・重工業をはじめ物流の重要拠点
- ・火力発電所、航空機製造、コンテナ埠頭、鋼材工業、大手自動車メーカー



貧しい村から日本一の金持ち村へ



飛島村が裕福な理由

南部に鉄鋼関連の事業所や発電所、
輸出関係の倉庫といった大手企業などが多く存在

事業所からの税収入(法人税・消費税など)が多い

臨海工業地帯に進出する200社を超える企業により
年間33億円以上もの税収が！！



2-b. 豊根村の立地状況

愛知県豊根村は
奥三河のいちばん山奥に位置している
人口が愛知県内で最も少ないが、どんな村なのかを紹介



豊根村（2018年4月1日時点）

総人口

1,068人

面積

約155.88km²

- ・愛知県内で一番人口の少ない「村」
- ・静岡県との境に接する村で、愛知県で最も標高の高い茶臼山（標高1,415m）が存在
- ・観光を中心にキャンプ場や県内唯一の茶臼山高原スキー場がある

豊根村は主に観光

茶臼山

愛知県の最高峰(1415.23m)

観光・レジャー

茶臼山高原

- ・恋人の聖地 芝桜の丘
- ・茶臼山高原スキー場
- ・キャンプ場

祭事

- ・花祭(重要無形文化財)



過疎地域でもある豊根村

人口ランキング

愛知県内では**最下位**
全国規模では**1689位/1724位中の少なさ**

(都道府県市区町村人口・面積・人口密度ランキングより 2018年10月1日推計)

奥三河のいちばん山奥に位置するため
殆どが森林で覆われ、**山林が約93%を占める**

現に平成19年新春の「花祭り」の開催を断念

過疎地域＝人口が長期間にわたり 減少した地域

総務省が
過疎地域自立促進特別措置法により指定する

愛知県の2つの村

飛島村



豊根村



合併もせずに
今も「村」のままなのか？

紹介したこの2つの「村」は
合併してしまえばよいのでは...？



果たして本当に合併する
必要性があるのだろうか？

3.市町村合併の仕組み

市町村合併の流れ、それに伴うコスト

合併によるメリット・デメリットなどを踏まえ

それぞれの「村」が合併すべきかどうかを判断していく

市町村合併とは？

新設合併

複数の市町村の区域の**全部または一部を統合して新たな市町村**としたり、
市町村の区域の**全部または一部を他の市町村に編入**したりすること

編入合併

出典 小学館デジタル大辞泉



いくつかの市町村が
1つになってより大きな自治体になること

市町村合併による効果

メリット(長所)

大規模な公共事業等が実現しやすくなる

→行政サービスの安定的な供給が可能

役所や図書館などの公共施設を効率的に配置できる

→自治体の経費削減に繋がる

さらに、地域への補助金額が増えることもある

市町村合併による効果

デメリット(短所)

地域としての
「アイデンティティ消失」の危険性

新たな市町村を作るため

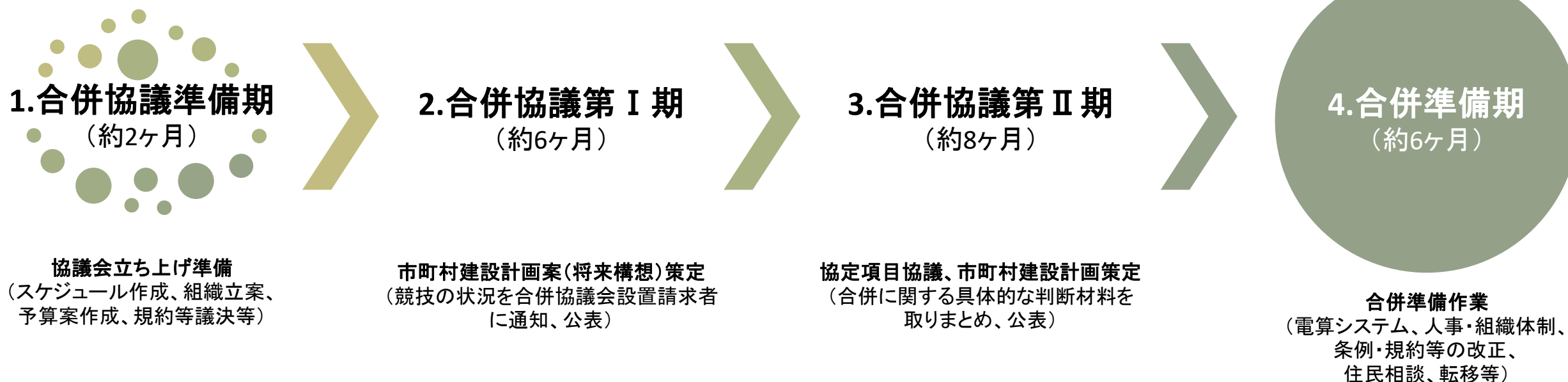
→中心地・名称決めで揉めることがある

議員数が減少するため

→住民の声が届きにくくなる可能性

各地域の歴史・文化・伝統が失われてしまう可能性がある！

合併するのにも膨大な時間が掛かる



それでも合併する必要性

地方分権の推進

➤市町村の規模、行財政基盤の強化・充実

住民の生活圏拡大

➤行政サービスも現在より広域的な対応

少子・高齢社会の到来

➤保険・福祉サービスの多様化・高度化

住民ニーズの多様化

➤多方面にわたる行政サービスの実現

財政状況の改善

➤効率的な行政運営

4. 財政力指数で比較する

市町村合併そのもののメリット・デメリットだけでは判断できないので
「財政力指数」を用いて、合併すべきかを考えてみる

財政力指数とは？

財政の豊かさを表す指標
1.0であれば収支バランスが
とれていることを示す

地方公共団体の財政力を示す大まかな指標

基準財政収入額（標準的な地方税収）を
基準財政需要額（行政事務の必要経費）で割った数値の過去3年間の平均値
数値が高いほど、自主財源の割合が高く財政状況に余裕があるとされる

小学館 デジタル大辞泉より

$$\frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}} = \text{財政力指数}$$

(例) $\frac{50\text{万の税収}}{200\text{万の経費}} = 0.25$ (財政力指数)

それぞれの村の財政力指数

飛島村



豊根村



飛島村の圧倒的な財政力指数

飛島村
(財政力指数) **2.07**

飛島村の財政力指数で比較すると...

飛島村

(財政力指数) **2.07**

標準財政規模
42億円

飛島村に隣接する
名古屋市

(財政力指数) **0.98**

約5500億円

東京都内で最も高い

武蔵野市

(財政力指数) **1.41**

約38億円

財政面では特段、すぐにでも合併する必要があるように思えるが...

飛島村が「村」の理由

＜市となる条件＞
人口は5万人以上

飛島村の在住人口は約4500人

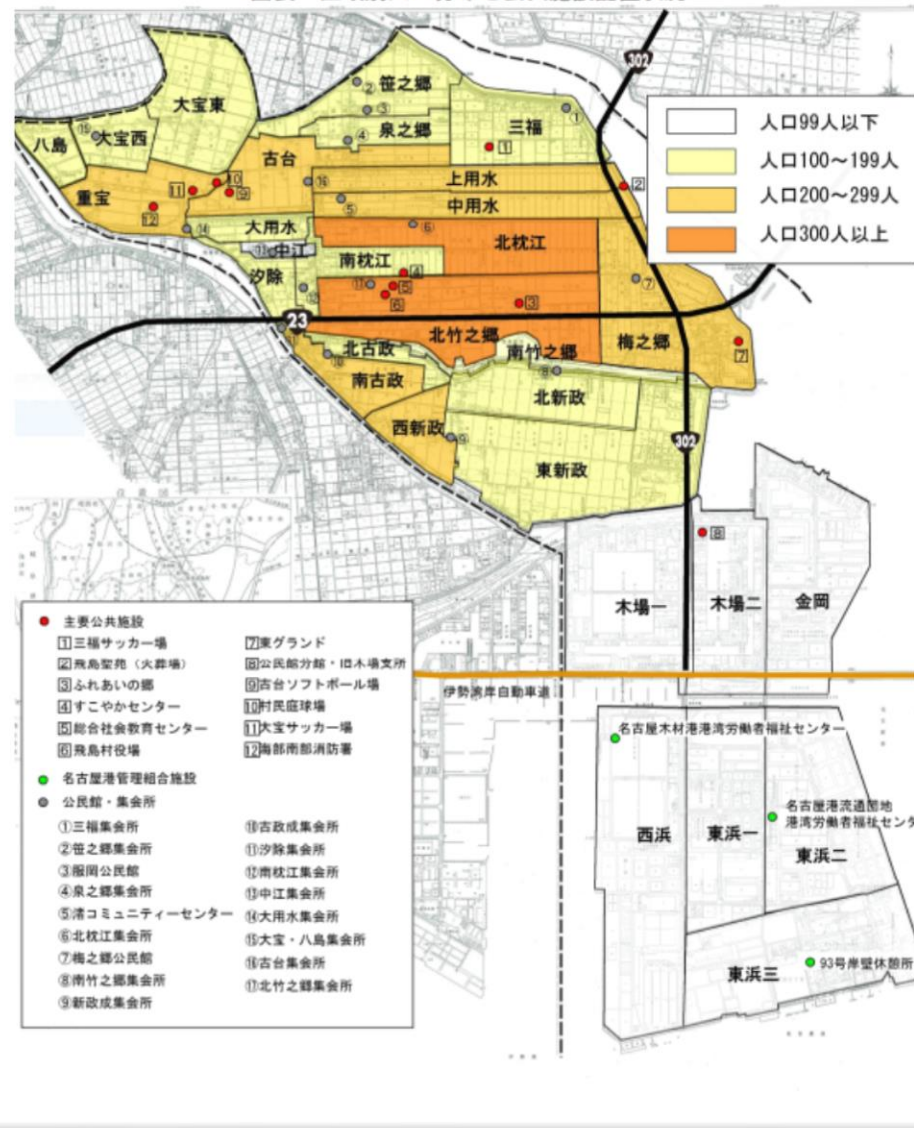


工業地帯のため通勤通学者が多く

昼間人口は約1万4000人

財政力指数が全国1位と
飛び抜けているが、
人口が少ないため「村」であり続ける！

図表 区域別人口分布と公共施設配置状況



飛島村は合併すべきか？

工業地帯が数多く、財政力は高い

財政力指数は全国1位

在住人口は少ないため「村」として分類されてしまっている

しかし、

工業地帯のため、通勤通学者が多い(昼間人口が多い)

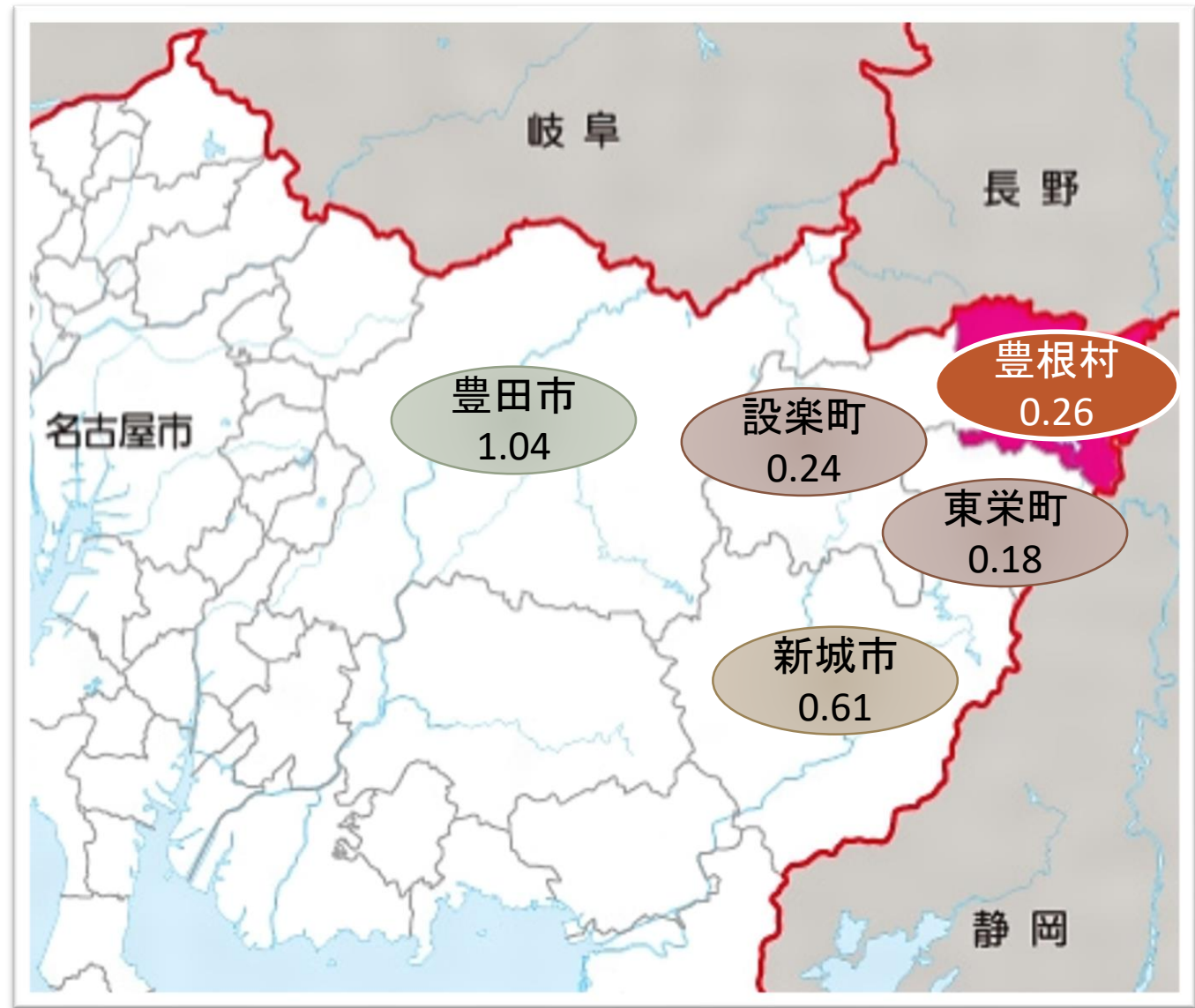
	飛島村は 合併する必要はないと考える。
--	------------------------

豊根村の財政力指数はどのくらい？

豊根村

(財政力指数) **0.26**

豊根村付近の自治体と 財政力指数で比較



(財政力指数が全体的に低めなので)
すべてまとめて合併してしまえば...



本当に合併する
必要性があるのだろうか？

5. 豊根村の合併のゆくえ

財政力指数で比べてみたら豊根村と同じような値の自治体が周囲に存在
共に合併した場合の効果を簡易的に予想する

2001/04/01 時点

協議会を作っては 解散を繰り返す

合併後の本役場をめぐり、難航した挙げ句

「東栄町・豊根村・富山村任意合併協議会」解散

直近では、富山村が豊根村に編入合併



平成の大合併において、合併したのにもかかわらず「村」であり続けた自治体

ちなみに富山村が豊根村に合併した結果

(離島を除いた)日本一 人口の少ない村

「富山村」



2005年(平成17年)「豊根村」に編入合併

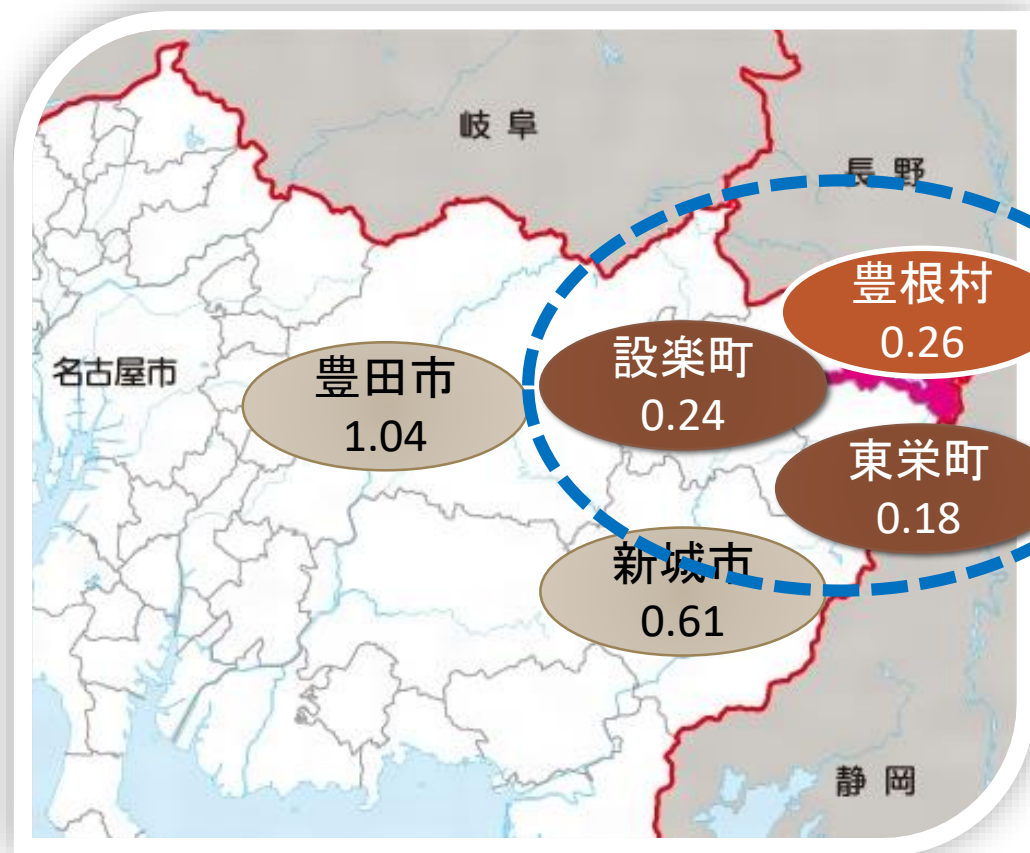
日本一 人口の少ない村の称号は消えた。



現在、愛知県内において一番人口の少ない村

「豊根村」

仮にまとめて自治体を合併させると？



財政力指数の低い自治体
同士をまとめて合併させると？



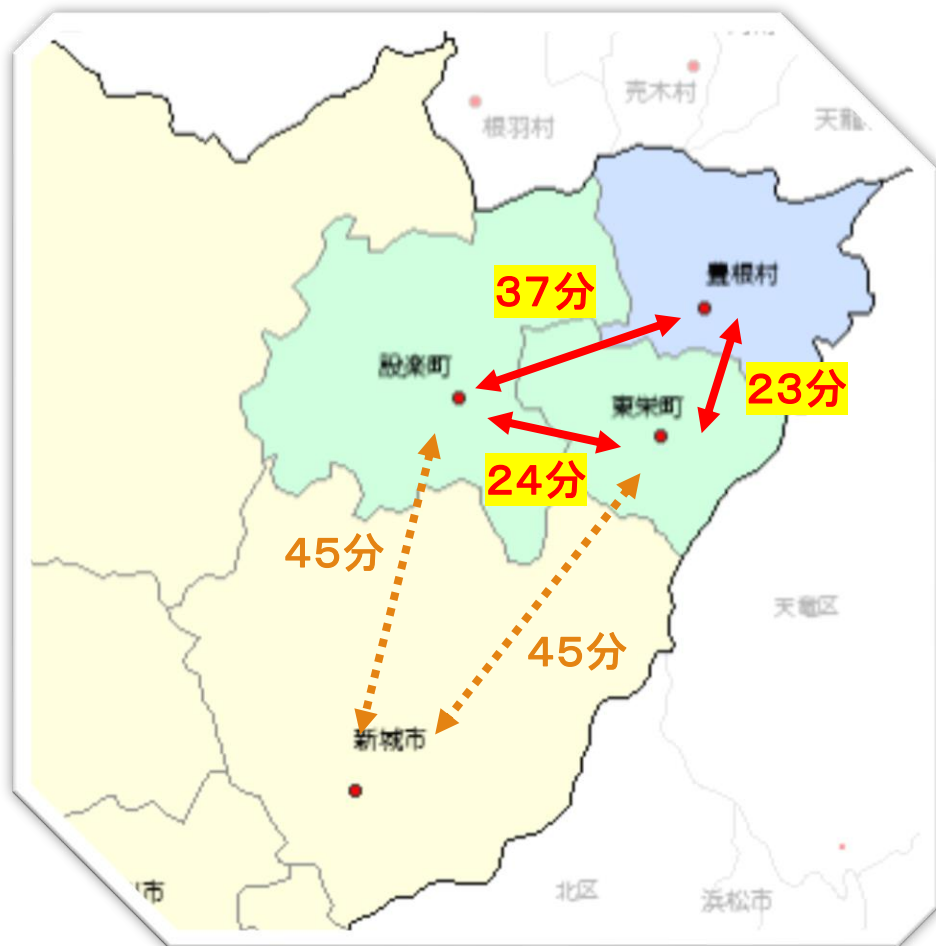
3つの自治体を
まとめてみる

まとめて合併させた場合のデータ

	面積 (km ²)	人口 (人)	人口密度 (人/km ²)	財政力指数
豊根村	155.88	1,063	6.82	0.26
東栄町	123.38	3,097	25.1	0.18
設楽町	273.94	4,648	17	0.24
新自治体	553.2	8,808	約15.92	-
豊田市	918.32	425,848	464	1.04
新城市	499.23	45,266	90.7	0.61

3つの財政力指数
単純な平均値
≒0.226

それぞれの役所・役場までの所要時間



役場の位置が遠くなって不便にならないか？

→旧役所は旧役所は、基本合併後も
新市町村の支所や出張所として活用されるはずなので
今まで通りに窓口サービスは受けられる

この規模の3つの自治体（豊根村・東栄町・設楽町）
ならば、運営自体は可能かと思われる。

※図の赤点は役所・役場の位置
線分はそれぞれの車での移動時間を示す(Google マップより算出)

3つの自治体が合併する場合の効果 予想

地方分権の推進

➤ 市町村の規模、行財政基盤の強化・充実

住民の生活圏拡大

➤ 行政サービスも現在より広域的な対応

少子・高齢社会の到来

➤ 保険・福祉サービスの多様化・高度化

住民ニーズの多様化

➤ 多方面にわたる行政サービスの実現

財政状況の改善

➤ 効率的な行政運営

結局、豊根村は合併すべきか？

合併を行うと様々な恩恵もあるが、
もともと存在するその土地の個性などを失うリスクもある

「地理的な条件などで合併できない場合も存在」

(豊根村の場合、村域の約9割を山林が占める)

→合併しても確実に上手くいくという訳ではない

	豊根村も (今すぐには) 合併する必要はないと考える。
--	--------------------------------

当然、豊根村での取組み・対策が存在

豊根村【地域再生計画】

持続可能な地域形成を！

豊根村まち・ひと・しごと総合戦略 「小さくとも持続するむら戦略」

→時代にあった地域を作り、安心な暮らしを守る取組みを前提とし、

コンパクト(効率的)な村づくりを目的とする。

また、観光振興で過疎化に歯止めを掛け、地域雇用や地域産業の活性化

地域資源を最大限に活かした
全国的な観光地への引き上げを推進することを目的とするもの。

「小さく持続するむら戦略」って？

まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立のために

◆総合戦略における基本目標

1. 茶臼山観光ブランド化

- 農林水産業や食文化など地域資源を最大限に生かして全国的な観光地へ

2. 田舎志向を引き込む

- 若者の田舎志向の受け皿整備を進めるとともに、都市部への道路整備の充実

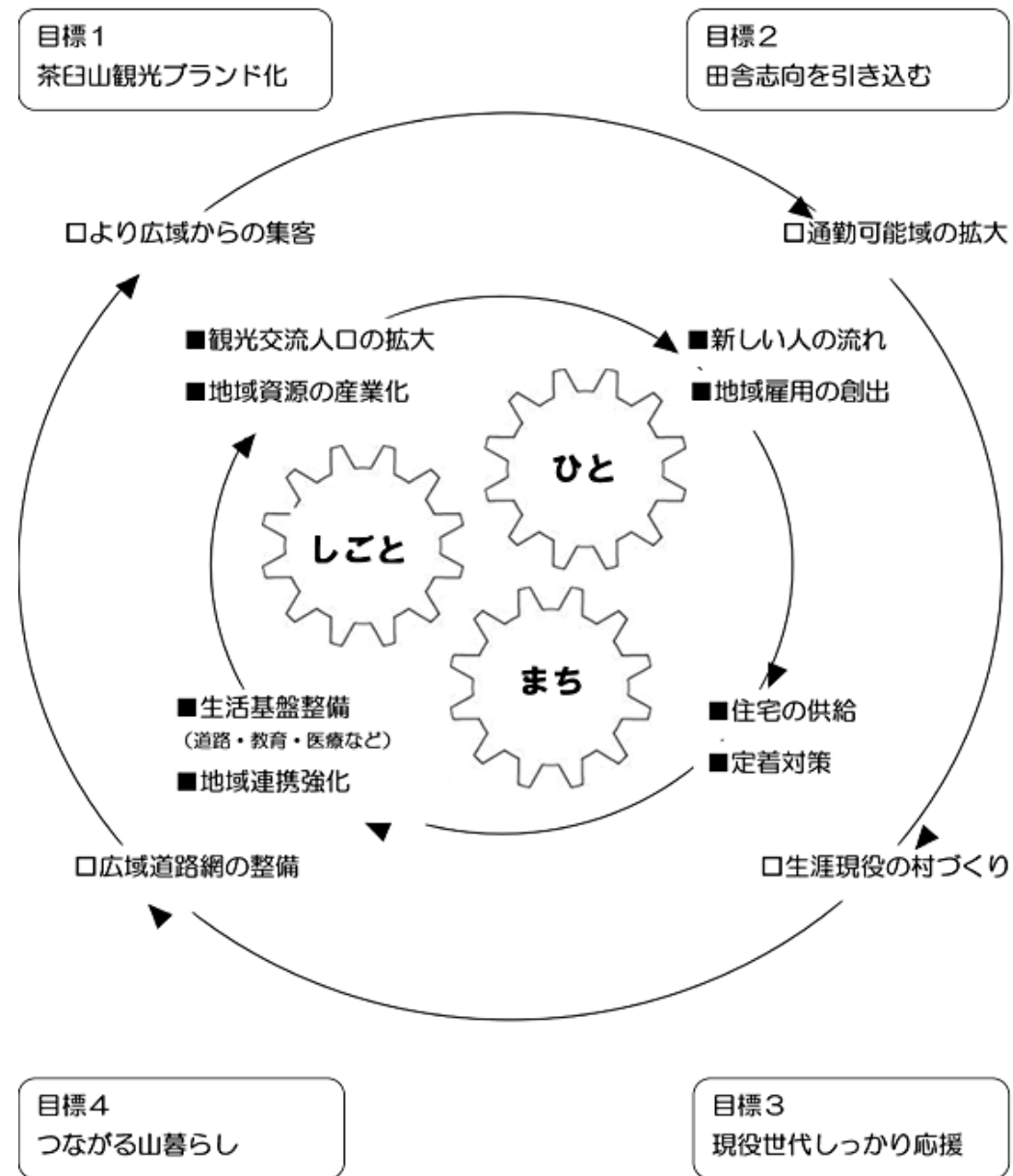
3. 現役世代しっかり応援

- 現役世代が安心して子育てができるような支援を行い、安心して暮らせる環境づくり

4. つながる山暮らし

- 住宅・医療・教育・交通・情報通信など生活基盤を公的に補完整備・維持充実

豊根村における 「まち」「ひと」「しごと」 の 好循環 - 概念図



6.まとめ

愛知県の2つの村

飛島村



豊根村



2つの「村」は合併すべきか？

①飛島村は合併すべきか？

工業地帯が数多く、財政力は高い

財政力指数は全国1位

在住人口は少ないため「村」として分類されてしまっている

しかし、

工業地帯のため、通勤通学者が多い(昼間人口が多い)

	飛島村は 合併する必要はないと考える。
--	------------------------

②豊根村は合併すべきか？

合併を行うと様々な恩恵もあるが、
もともと存在するその土地の個性などを失うリスクもある

「地理的な条件などで合併できない場合も存在」

(豊根村の場合、村域の約9割を山林が占める)

→合併しても確実に上手くいくという訳ではない

	豊根村も (今すぐには) 合併する必要はないと考える。
--	--------------------------------

参考文献(1/4)

前田みゆき^他
(2002)『市町村合併と情報システム』第一版(株)日本経済評論社.

福井樹彦・鈴木尚通^他
(2003)『愛知・静岡・長野の市町村合併を診断する』第一版 愛知大学中部地方産業研究所.

愛知県公式Webサイト H30 11/4 参照
<https://www.pref.aichi.jp/>

都道府県・市区町村ランキング【日本・地域番付】 H30 11/21 参照
<http://area-info.jpn.org/>

市区町村変遷情報 - 都道府県市区町村 H30 11/19 参照
<https://uub.jp/upd/aichi.html>

総務省 | 市町村合併資料集H30 11/22 参照
www.gappei-archive.soumu.go.jp/heiseinogappei.pdf

参考文献(2/4)

市町村の「分離・分割」について考える（試論） - ふるさと総研 H30 6/25 参照
www.furusatosouken.com/171017shicyouson.pdf

市町村合併Q&A | 相模原市 ～市町村合併とは？ H30 6/25 参照
www.cc9.ne.jp/~oif-gappeikyo/about_gappei/

全国都道府県別・市町村合併新旧一覧図 | 国土地理院 H30 7/25 参照
www.gsi.go.jp

野々市市 ～『市と町との違いについて』 H30 7/25 参照
<https://www.city.nonoichi.lg.jp/data/open/cnt/3/722/1/0903.pdf>

豊橋市市町村合併研究会のまとめ/豊橋市 H30 7/24 参照
www.city.toyohashi.lg.jp/4868.htm

愛知県における 平成の合併の効果と課題 H30 9/24 参照
<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/2125.pdf>

参考文献(3/4)

あわ北合併協議会 H30 9/24 参照

<http://www.gappei-archive.soumu.go.jp/db/37toku/0169awa/index.html>

大分県本部／日田市職員労働組合『日田市の市町村合併を振り返って』 H30 9/24 参照

http://www.jichiro.gr.jp/jichiken_kako/report/rep_saga35/02/0219_jre/index.htm

飯能市・名栗村合併協議会－合併とは？ H30 6/15 参照

http://www.gappei-archive.soumu.go.jp/db/11saitama/35-hannou/contents/gapp_01.html

熊野町－市町村合併について H30 6/15 参照

<http://www.town.kumano.hiroshima.jp/www/genre/1000000000037/index.html>

政府統計の総合窓口－e-stat H30 9/24 参照

<https://www.e-stat.go.jp/>

「平成の合併」をめぐる実態と評価 - 全国町村会 H30 10/15 参照

www.zck.or.jp/teigen/gappei-ma.pdf

参考文献(4/4)

とよね村 Toyone Village Official Site H30 11/24 参照

www.vill.toyone.aichi.jp/

豊根村地域再生計画(豊根村にぎわい拠点整備計画) H30 11/24 参照

www.vill.toyone.aichi.jp/cms/wp-content/uploads/2017/11/nigiwaikyotenn.pdf

沼津市一なぜ、市町村合併が必要なのか H30 11/21 参照

<https://www.city.numazu.shizuoka.jp/shisei/gyozaisei/widearea/gapei/naze.htm>

RESAS 地域経済分析システム - 昼間人口・夜間人口の地域別構成割合 H30 11/20 参照

<https://resas.go.jp/>

全国過疎地域自立促進連盟 H30 11/23 参照

<http://www.kaso-net.or.jp/map/aichi.htm>

ご清聴
ありがとうございました
